

令和5年度の重点課題

【情意面での課題】

運動やスポーツをすることが、「やや嫌い」もしくは「嫌い」と回答する児童の割合が
男子・・・4%に対し、女子・・・13.2%であり、
女子児童に運動が嫌いな児童が多かった。

【体力面での課題】

体力テストの判定がDE判定だった児童の割合が全体の17.9%であったこと。
握力と立ち幅跳びの結果が全国平均値を下回った。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

【体育の授業】

基礎体力向上のために縄跳び、鉄棒に継続して取り組んだ。1年間継続して取り組むことで、体力向上と縄跳びや鉄棒の技能向上に繋げることを狙った。具体的には、二重跳びと逆上がりが全校児童の70%以上ができるようになることを目標として取り組んだ。

【体育の授業以外】

休憩時間などにも児童が目標をもって主体的に鉄棒や縄跳びに取り組むことができるように、具体的な目標を示した鉄棒カード、縄跳びカードを配布した。また、体育集会を月に1回行い、その中で縦割り班での外遊びや縄跳び、体づくり運動に取り組んだ。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.26	18.97	30.50	37.09	45.67	9.21	141.74	22.83	49.68	第5学年	14.04	18.08	34.46	34.29	35.35	9.84	133.27	14.68	51.17

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.26	18.97	30.50	37.09	45.67	9.21	141.74	22.83	49.68	第5学年	14.04	18.08	34.46	34.29	35.35	9.84	133.27	14.68	51.17

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	71.42	22.85	5.71	0.00	第5学年	80.76	3.84	0.00	15.38

学校独自の意識調査

- 運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業を除く)
- ほとんど毎日(週に3日以上) 42.6% (26名)
 - ときどき(週に1~2日くらい) 45.9% (28名)
 - ときたま(月に1~3日くらい) 9.8% (6名)
 - しない 1.6% (1名)

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

情意面での課題解決のために、達成感を感じることができる授業づくりに取り組む。ICT機器を使い、自身の動きを録画して記録を残しふりかえることで、自身の成長に気付くことができる場を設ける。また、他の児童と動画を見せ合いながら活動を振り返り、その中でよさを認め合う場を設けるようにすることで体育の意欲向上に繋げる。
体力面での課題解決のために、運動量確保を意識した授業づくりに取り組む。何ができるようになるのか等、各時間のねらいを明確にもち、説明を簡潔かつ分かりやすいものにする。活動の時間を長く確保できるようにする。また、始めの5分の流れをパターン化(整列→体操→縄跳び・鉄棒もしくはサーキットトレーニング)することで、本時の活動の時間を確保しながらも継続した運動に取り組むことができるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

今年度も、縄跳び、鉄棒に継続取り組む。1年間継続して取り組むことで、体力の向上と縄跳びや鉄棒の技能の向上に繋げるとともに二重跳び、逆上がりが全校児童の70%以上できるようにする。二重跳びや逆上がりができるようになることで達成感を感じられるようにするとともに体育に対する苦手意識の軽減を目指す。また、鉄棒カード、縄跳びカードを配布することで具体的な目標を示し、全校児童の縄跳び、鉄棒への意欲を高める。
体育集会で体づくり運動や縦割り班での外遊び、長縄大会を行ったりすることで楽しみながら運動ができる場を設ける。また、「外遊びDAY」として、体調不良等でない児童は外遊びをする日を週に2日設定することで、運動をする習慣の定着を目指す。

重点課題

情意面での課題

5年生男子 運動やスポーツをすることが、やや嫌い5.71% 嫌い0%
5年生女子 運動やスポーツをすることが、やや嫌い0% 嫌い15.38%
5年生全体 運動やスポーツをすることが、やや嫌い3.2% 嫌い6.5%である。
昨年度の結果と比べ、運動やスポーツをすることが嫌いと回答した児童の割合は5.2%増加している。

体力面での課題

今年度、DE判定の児童は、5年生全体の41.8%である。昨年度と比較すると、23.9%増加している。
また、50m走とソフトボール投げ以外の種目が男女ともに令和4年度の全国平均値を下回っていた。今後、基礎的な運動能力の向上を目指す必要がある。

令和7年度の
重点目標値

- ・50m走、ソフトボール投げ以外の種目で全国平均値以上
- ・二重跳び、逆上がりができる児童が全体の70%以上